

令和 4 年度仙台市図書館事業報告書(案)

～仙台市図書館振興計画 2022 に基づく事業の実施状況～

令和 5 年 8 月

教育局市民図書館

目 次

方向性 1 地域や市民に役立つ図書館となるために

- (1)生涯学習を支援する基盤施設としての図書館サービスの充実に取り組みます…… 1
【生涯にわたり誰もが主体的に自分らしく学べる機会の充実】
【人と人をつなぐ居場所、活力を生み出す場づくり】
【各種イベントのオンライン開催など非来館型サービスの研究】
- (2)課題解決に取り組む市民の学びをサポートします…… 2
【SDGsの17のゴールを意識した事業の推進】
【レファレンスサービスの充実・周知】
【関係機関等との連携による市民の課題解決の推進】
- (3)地域の歴史や魅力を継承・発信し、未来の地域づくりに貢献します…… 4
【地域情報の蓄積・継承・発信】
【市民や地元事業者等との連携による地域の歴史・魅力の発掘・発信】
【東日本大震災の記録と教訓の伝承】
- (4)多様な機関と連携し、「学都仙台」の活力を向上します…… 5
【大学等教育機関との連携】
【社会教育機関等との連携による市民の多様な学びの支援】

方向性 2 0歳から読書に親しめる読書文化を育む図書館となるために

- (1)乳幼児から読書に親しみ、豊かな感性を育む機会を提供します…… 6
【妊娠期の親への読書支援の推進】
【絵本を通じた乳幼児と保護者のふれあいの機会づくり】
【幼稚園、保育所等での読書活動の支援】
- (2)障害のある子どものニーズに応じたサービスを提供します…… 7
【障害のある子どもが利用しやすい資料の拡充、読書環境の整備】
【関係機関との連携によるニーズに応じた取組の推進】
- (3)ヤングアダルト世代の読書活動、学習活動を支援します…… 7
【中高生の主体的な読書活動のサポート】

【SNS等を活用した広報の推進】

【YAコーナー、YA向けコンテンツの充実】

(4) 学校との連携を推進し、子どもの読書環境、学習環境の向上を支援します…………… 9

【オンラインを活用した学校連携】

【学校と連携した継続的な読書活動や調べ学習のサポート】

(5) 家庭・地域等と連携し、子どもの創造性を育む読書活動を支える環境づくりを進めます…………… 9

【地域の子育て関連施設等と連携し、家族がともに学び、ふれあう機会づくり】

【子どもが本に親しみ、継続的な読書活動につなげるための取組】

【子どもの心を育み、居場所となる取組】

方向性 3 市民一人ひとりに利用しやすい図書館となるために

(1) どこに住んでいても図書館サービスが利用できる環境の整備に取り組みます…… 12

【事業者や市民団体等との連携による図書館サービス】

【移動図書館の安定的なサービス】

【電子図書館などオンラインサービスの推進】

(2) あらゆる人に使いやすい図書館サービスを推進します…………… 13

【超高齢社会に即した図書館サービスの推進】

【図書館を利用しにくい方々へのサービスの強化】

【国際化社会に対応したサービスの充実】

(3) ICT環境の進展など社会環境の変化を踏まえたサービスを提供します…………… 14

【電子媒体を活用した発信の強化／利用者のITリテラシーに合わせたサポートの強化】

方向性 4 自らの変革を進める図書館となるために

(1) 市民の財産としての資料を計画的に収集・保存し、活用します…………… 15

【計画的な資料の収集・保存・活用】

【電子図書館の特色あるコンテンツづくり】

(2) めざす図書館像を市民と共有し、ともに図書館づくりを進めます…………… 15

【市民協働事業や広報の促進】

【地域人材の育成と活躍の場の提供、市民参加の促進】

(3) 図書館資源を適正に配分・管理し、最大限に活用します…………… 16

【安定的なサービス提供のための課題解決】

【来館型・非来館型サービスの適正な運用】

【費用対効果を踏まえたサービスのあり方の検討、財源創出の手法の研究】

(4) 図書館サービスの評価・分析を行いながら図書館経営を行います…………… 17

【数値的成果指標の図書館サービス向上への活用】

【市民による評価や意見の活用】

(5) 図書館職員に求められる資質と専門性の向上に努めます…………… 17

【社会環境や課題の変化を踏まえた職員の資質と専門性の向上／職員間の知識や技術・

経験の伝承／マネジメント能力を高め、市民の活動の場を支える職員の育成】

方向性ごとの今後の課題…………… 19

凡例

◎ 新 ……全館で実施した新規事業

◎ 拡 ……全館で実施した拡充事業

◎ 重 ……全館で実施した重点事業

■ 新規 ……各館で実施した新規事業

■ 拡充 ……各館で実施した拡充事業

方向性 1 地域や市民に役立つ図書館となるために

施策(1) 生涯学習を支援する基盤施設としての図書館サービスの充実に取り組みます

【生涯にわたり誰もが主体的に自分らしく学べる機会の充実】

人生 100 年時代を踏まえ、あらゆる世代の学びを日常的に支える資料を収集・提供するとともに、様々な本や情報と出会うきっかけとなる資料案内や各種ブックリスト等の発行、展示等を実施した。また、新しく市民となった方にも図書館を利用してもらえるよう、各区役所・総合支所と連携し、市外からの転入者へ図書館利用案内を配布した。

○資料の収集・提供

	令和3年度	令和4年度
資料受入数(冊・点)	58,283	59,600
所蔵数(冊・点)	2,084,588	2,073,368
個人利用者数(人)	1,341,615	1,469,335
個人貸出数(冊・点)	4,127,116	4,393,286

※電子書籍を除く

○資料案内、ブックリスト等の発行

一般向け図書案内	「本の翼」(市民) 「広瀬図書館新刊案内」(広瀬) 「新着セレクト」(宮城野) 「つつじがおか」(榴岡) 「推し本！」(榴岡) 「若林図書館だより 本びより」(若林) 「Choice of Books」(太白) 「シニアライフの充実は“図書館”から」(泉) 「本のいずみ」(泉) 「マタニティブックリスト—新しい家族を迎えるあなたに…—」(泉)
児童向け図書案内	「うちどくにおすすめの本」 「BOOK TREE」 「あかちゃんを楽しむはじめての絵本」 他 各館でテーマ別図書案内等を発行
中高生向け図書案内	「いじめ・命に向き合う本」(全館) 「10代のためのこころのサブリ」(全館) 「ライブラリー オーケストラ」(広瀬) 「B-POP by Library Orchestra」(広瀬) 「YAnews」(広瀬) 「学習応援本」(宮城野) 「Young Woods」(若林) 「すばろーずペーパー」(泉) 「BOOK LIST2022」(泉)
新着視聴覚資料案内	「AV 新着案内」(広瀬) 「Come, Come」(宮城野) 「まんまるシアター」(若林) 「アンシャンテ」(太白) 「キー・ステーション」(泉)
広報紙等	「YA 瓦版」(全館) 「郷土のかぜ」(市民) 「広瀬図書館だより」(広瀬) 「榴岡図書館だより」(榴岡) 「上映会通信」(若林) 「ととといずみ」(泉) 「子供図書室通信」(泉)
その他	「仙台市職員研修のための図書案内」(市民) 「レファレンスブックリスト」(広瀬) 「福袋の本リスト(一般向け・児童向け)」(榴岡・泉) 「大活字本所蔵リスト」(泉)

○テーマ別展示・企画展示等の実施

主な内容	実施館
毎月のテーマ展示のほか、季節や時事に関連した資料の展示コーナーを設置	全館
「追悼コーナー」「芥川賞・直木賞受賞コーナー」等を報道後迅速に設置	全館
春と秋の子ども読書フェスティバル期間中におけるテーマ展示	全館
職員が各々にテーマを設定して実施する資料展示「広瀬図書館スタッフの MY 本棚」	広瀬
松本清張没後 30 年企画「清張映画ポスター展」(映画ポスターやパンフレット、関連資料等の展示) 新規	広瀬
利用者のおすすめ本を募り、「みんなのおすすめ 2022」として展示やリストで紹介	泉

○市外からの転入者への情報提供

各区役所戸籍住民課・各総合支所税務住民課と連携し、市外からの転入者へ図書館利用案内を配布 (全館) **新**

方向性 1

【人と人をつなぐ居場所、活力を生み出す場づくり】

市民が知的活動に集中できる「書齋」としての機能を持たせつつ、資料と人、人と人が交流できる「広場」の形成をめざし、各館で様々なイベントを開催した。

○各館の主な事業

事業名	内容	実施館
本の福袋	年代別に図書館員が選んだ資料を福袋(パッケージ)にして貸出	市民・広瀬・宮城野・榴岡・若林・泉
市民図書館開館 60 周年記念講演会「今、届けたい言葉」	芥川賞受賞作家・若竹千佐子氏による講演会	市民
ライブラリーアフターアワーズ「光のページェント音楽会」	閉館後の図書館を活用したクラシックギターアンサンブルによる演奏会	市民
5 歳児虫歯予防絵画展(会場提供)	健康福祉局健康政策課が主催する事業に協力し、入賞作品 60 点を図書館内の壁面に展示	市民
館長講演会「ビートルズの小説学」	ビートルズが登場する小説を様々な切り口で紹介する講演会	広瀬
館長講演会スピンオフ企画「ザ・ビートルズ 小説の世界」	ビートルズが登場する小説、来日公演時のパンフレットや映画ポスターなどを展示する企画展	広瀬
ひろせワクワクシアター	アニメ映画「ボス・バイビー ファミリー・ミッション」を上映(共催:広瀬文化センター)	広瀬
製本ワークショップ	手製本の手法でオリジナル手帳を作成する講座	広瀬
DVD 上映会、映画上映会	毎月、または季節ごとなどに上映会を開催	宮城野・若林・泉
スポーツ講演会	マイナビ仙台レディースユース監督による講演会	若林
ほんのトーク 新規	月に一回、閉館後の図書館に集まり、テーマに沿って本について気軽におしゃべりするトークイベント	太白
なるほど! 図書館講座	普段は入れない書庫の裏側見学会など、図書館の知って得する情報イベント	泉
大人が楽しむおはなし会	絵本の読み聞かせや素話を通じて、参加者同士の交流を促すイベント	泉

【各種イベントのオンライン開催など非来館型サービスの研究】

災害や感染症の流行など非常時を見据えた図書館サービスのあり方として、読み聞かせのオンライン開催や、電子図書館のコンテンツの充実、新たに電子雑誌閲覧サービスを開始するなど、非来館型サービスを推進した。

○主な実績

- ・電子図書館総資料数(コンテンツ数) 4,358 点 (令和3年度末 3,322 点)
- ・TRC-DL マガジン 電子雑誌閲覧サービス運用開始 (令和5年2月) **拡充**
- ・おうちで楽しむオンラインおはなし会を年3回開催 (若林)

施策(2) 課題解決に取り組む市民の学びをサポートします

【SDGsの17のゴールを意識した事業の推進】**(重)**

持続可能な社会づくりに向け、SDGs に対する理解の普及をめざし、関連資料の展示や SDGs に関連した事業を実施した。

○各館の主な事業

事業名	内容	実施館
SDGsWeek2022～未来を考 える1週間～	SDGs に関連した資料をSDGsWeekの期間に合わせて展示	全館
SENDAI SDGs Week 2022	ぶらんどーむ一番町にブース出展し、SDGs 関連図書資料の展示、クイズを実施	市民
	SENDAI SDGs Week 2022 のイベントロゴマーク入りしおりを配布	泉
企画展示「What's the SDGs? SDGs って何だろう？」	GOAL13・GOAL16 を取り上げ、取り上げた 2 つのゴールの該当書棚に共通デザ インによるサイン表示を行った	広瀬
ガラポンを回してSDGsを学ぼう	ガラポンを回して、出た目の数のクイズをみんなで回答	榴岡
ドキュメンタリー映画鑑賞会	ドキュメンタリー映画を通して SDGs への理解を深める映画鑑賞会	若林

【レファレンスサービスの充実・周知】

社会教育施設や関係機関を通して専門分野に関するレファレンス資料及び情報の収集を行うほか、国立国会図書館の「図書館向けデジタル化資料送信サービス」による資料提供を全館で行った。また、テーマ別調べ方のガイド「パスファインダー」の更新等を行い、ホームページなどにより周知を図り、レファレンス機能の充実等に努めた。

○主な実績

- ・レファレンス件数 40,239 件（令和 3 年度 37,120 件）
- ・国立国会図書館の「図書館向けデジタル化資料送信サービス」利用件数 109 件（令和 3 年度 159 件）

○各館の主な事業

事業内容	実施館
国立国会図書館の「レファレンス協同データベース」にレファレンス事例の登録を継続して実施	全館
パスファインダーの更新(No.1～26)及び新規作成(No.42～53)を行い、館内配置及びホームページ掲載にて周知	全館
『図書館にまいこんだこどもの大質問』(青春出版社、2023 年 1 月)にレファレンス事例を提供 新規	全館
所蔵する参考図書の内容や特徴を紹介する「レファレンスブックリスト」を発行(再掲) 新規	広瀬

【関係機関等との連携による市民の課題解決の推進】

地域の特性を踏まえ、関係機関や各種団体と連携し、講座やセミナーの開催、図書館資料・リーフレット等の展示や啓発ポスターの掲示等を実施した。

○各館の主な連携事業

事業内容	連携先	実施館
連携展示:テーマに基づいて、啓発物と図書館資料を展示 (テーマ例:「歯と口の健康」・「食育」・「自殺対策」等)	各区保健福祉センター家庭健康課、宮城総合支所保健福祉課	市民・広瀬・宮城野・太白・泉
展示「知の大冒険～東洋文庫 名品の煌めき～」	東北歴史博物館	市民・広瀬・泉・太白
仙台市×韓国光州広域市 姉妹都市 20 周年記念展示	文化観光局交流企画課	市民
就職・就労応援講座「シニア世代の働き方講座」 新規	ハローワーク仙台	榴岡
法律講座「知っておきたい相続のはなし」	法テラス宮城	泉
創業支援セミナー「事業を成功につなげるための計画書づくりを学ぼう！」	日本政策金融公庫	泉
展示:ビジネス支援関連の書籍や起業者の事例パネル等を展示	日本政策金融公庫	泉
展示「12 月 1 日は国際エイズデー 性について考えよう」	泉区保健福祉センター管理課	泉

方向性 1

施策(3) 地域の歴史や魅力を継承・発信し、未来の地域づくりに貢献します

【地域情報の蓄積・継承・発信】**重**

市民の協力を得て地域資料の収集・提供に継続して努めたほか、郷土史をテーマにしたイベントを開催した。また、せんだい電子図書館では、仙台の郷土資料を収集し、トップページに専用バナーを設けるなど、地域の特性を踏まえた運営に取り組んだ。

○主な実績

- ・郷土資料受入数 1,789 冊（令和3年度 2,122 冊） ※うち寄贈による受入数 1,230 冊（令和3年度 1,458 冊）
- ・電子図書館コンテンツ数 郷土資料・震災資料 143 点・112 点（令和3年度末 112 点・106 点）

○各館の主な事業

事業名	内容	実施館
郷土史イベント	市民図書館郷土ウォーク「西公園を歩こう」	市民
まちあるき	仙台駅東口のお寺をめぐるまちあるき「東口のお寺めぐり」	榴岡
ひろせアーカイブ	地域にまつわる記憶や思い出を詩やエッセイなどの形式で募集する「思い出アーカイブ」、地域性のある写真を集めた「ジモト写真館」など、地域の情報や記憶を収集・保存・共有・継承するデジタルアーカイブ事業	広瀬
仙台七夕関連事業	講演会「仙台七夕まつり 昭和～平成～未来」 パネル展「あらためて伝えたい仙台七夕まつり ～写真・ポスター・絵はがきで振りかえる～」	若林

【市民や地元事業者等との連携による地域の歴史・魅力の発掘・発信】**重**

地域情報を有する専門機関等と連携し、地域の魅力を再発見できるようなイベントを開催したほか、継続して地域ゆかりの作家に関する資料の収集に努めた。

○各館の主な連携事業

事業内容	連携先	実施館
講座:Library after hours「本で味わうお酒の歴史～仙台とお酒の物語～」	仙台市博物館	市民
講座「秋の娯楽～行楽と食～」 「新しい時代の乗り物と仙台の街」	仙台市歴史民俗資料館	榴岡
文学散歩「もっと知りたい尾形亀之助」(講演)	仙台文学館	若林
農業連携事業地域講座「春・夏野菜準備編 土づくりからはじめてみよう!!」	せんだい農業園芸センター みどりの杜	若林

【東日本大震災の記録と教訓の伝承】

東日本大震災の関連資料や情報を継続的に収集し、震災を語り継ぐため市民図書館に設けた「3.11 震災文庫」及び各館震災コーナーの充実と活用を図った。また、仙台市政だよりで震災文庫の資料を紹介する「3.11 震災文庫を読む」の連載や、せんだい 3.11 メモリアル交流館での資料の展示などを継続して行った。

○主な実績

- ・3.11 震災文庫資料収集(所蔵)数 14,221 点（令和3年度末 13,967 点）

○各館の主な事業

事業名	内容	実施館
3.11 震災文庫を読む	仙台市政だよりに「3.11 震災文庫を読む」掲載(計9回)、Twitter による発信	市民
仙台防災未来フォーラム 2023 出展	電子図書館の利用体験や震災関連の電子書籍の紹介、「3.11 震災文庫を読む」で紹介した資料の展示	市民

東日本大震災関連展示「新聞報道の六日間」	震災直後の新聞(河北新報・朝日新聞・日刊スポーツ)や関連図書、雑誌を広瀬文化センター・ロビーにて展示(協力:広瀬文化センター)	広瀬
震災関連事業	3.11 オモイデアーカイブ 3.11 定点撮影プロジェクト「3.11 キラクのキロク、そしてイマ。2022 巡回展」とギャラリートークを実施	若林
東日本大震災から 12 年	東日本大震災をテーマにした特集展示	泉

施策(4) 多様な機関と連携し、「学都仙台」の活力を向上します

【大学等教育機関との連携】

宮城教育大学附属図書館との資料の相互貸借を継続して実施するとともに、利用者からの問い合わせに応じて大学図書館の所蔵状況の確認や紹介状の発行を行った。また、インターンシップ受入による人材育成や、市内大学等にて出前講座などを行った。

○各館の主な連携事業

事業内容	実施館
インターンシップ受入・カウンター業務等の実習(盛岡大学・聖和学園短期大学・東北学院大学・東北福祉大学等)	市民・宮城野・榴岡・太白・泉・移動
施設見学(桜の聖母短期大学・聖和学園短期大学・仙台大学等)	市民・榴岡・太白
授業等への講師派遣(尚綱学院大学・仙台青葉学院短期大学・東北生活文化大学短期大学部等)	広瀬・榴岡・泉
仙台高等専門学校との連携により小学生を対象とした科学工作会を開催	広瀬
仙台高等専門学校の「高専祭」の「古本市」に、広報や不要本回収で協力	広瀬

【社会教育機関等との連携による市民の多様な学びの支援】

市民の多様な学びをサポートするため、市民センター等との連携による各種講座の開催や、ボランティア活動を推進するための取組を行った。

○各館の主な事業

事業内容	実施館
せんだいメディアテークとの共催で、ボランティアグループによる手話を使ったおはなし会を開催	市民
市民センターの図書室で活動するボランティアなどを対象とした本の修理講座へ講師を派遣	市民
併設施設である広瀬市民センターが主催する各種講座の開催に合わせ、講座会場内での資料展示を実施 新規	広瀬
泉おはなしの会と共催で、民話語り手を講師に招き、一般向けに、民話の語り方や丸森の民話を紹介する講座を実施	泉
幸町市民センターの依頼を受け、図書に関するボランティアの方向けにブックトークの出前講座を実施	泉

方向性 2

方向性 2 0歳から読書に親しめる読書文化を育む図書館となるために

施策(1) 乳幼児から読書に親しみ、豊かな感性を育む機会を提供します

【妊娠期の親への読書支援の推進】

読書によってマタニティライフを楽しめるよう、ブックリストの発行や、妊娠期の親を対象としたイベントなどを行った。

○各館の主な事業

事業内容	実施館
絵本作家こがようこ氏による講話「これから赤ちゃんを迎える方のための絵本講座」を開催	市民
マタニティおはなし会:みやぎ親子読書をすすめる会の協力により、絵本の読み聞かせやわらべうた、本の紹介などを実施し、終了後におしゃべりタイム(希望者)を設け、参加者との交流を図った	泉
「マタニティブックリスト—新しい家族を迎えるあなたに…」を継続して発行(再掲)	泉

【絵本を通じた乳幼児と保護者のふれあいの機会づくり】(重)

各種おはなし会について、ボランティア団体等と連携しながら継続して実施し、読み聞かせの大切さを伝えた。また、乳幼児と保護者がコミュニケーションを深められるようなイベントを開催するなど、乳幼児から読書に親しめるような機会を創出した。

○主な実績

- ・乳幼児向けおはなし会 実施回数・参加者数 226回・2,209人(令和3年度 133回・1,110人)
- ・幼児向けおはなし会(幼児～小学校低学年対象) 実施回数・参加者数 504回・4,189人(令和3年度 344回・3,085人)
- ・親子向け実践講座「赤ちゃんと楽しむ絵本とわらべうた」など、乳幼児及び保護者向けの事業
実施回数・参加者数 15回・238人(令和3年度 15回・160人)
- ・乳幼児の保護者向けブックリスト「あかちゃんと楽しむはじめての絵本」の作成、配布
配布先:各区役所総務課・保健福祉センター家庭健康課、各のびすく、市立保育所
- ・読書活動推進ボランティアの延べ人数 1,027人(令和3年度 669人)
- ・文庫やボランティアの活動支援のための交流会・懇談会等 実施回数 18回(令和3年度 11回)

○各館の主な事業

事業名	内容	実施館
にこにこ赤ちゃん・えほんのひろば 新規	せんだいメディアテークオープンスクエアを会場として、乳幼児向けや妊娠中の方向けにおはなし会や講話等を実施 (講話「絵本やわらべうたで語りかける子育て」、講話「これから赤ちゃんを迎える方のための絵本講座」(再掲)、ボランティアによる連続おはなし会、文庫さんとのふれあいタイム、栄養士による相談コーナーなど)	全館
はじめよう!ベビーサイン	日本ベビーサイン協会認定講師によるベビーサイン体験会	広瀬
ぼけっと おはなし会	原町児童館(のびすく宮城野)を会場として、0～1歳児親子を対象に、絵本の読み聞かせ、わらべうた等を合同で実施	宮城野
ウエルカムひろば	乳幼児とその保護者を対象に交流の場を設け、育児相談や子育てに関する情報提供、児童書の紹介等を実施(区中央市民センター、区保健福祉センター家庭健康課、原町児童館等と共催)	宮城野
乳児向け読み聞かせボランティア養成講座 新規	乳児向けの絵本などの読み聞かせに興味のある方を対象としたボランティア養成講座	泉

【幼稚園、保育所等での読書活動の支援】

団体貸出や子ども読書支援パックの貸出、テーマ別リストの作成、各種講座等の開催のほか、除籍本を無償譲渡するなど、保育所等での読書活動の支援を行った。

○主な実績

- ・有効活用無償譲渡会(市内保育所・保育園) 提供数 17 施設・1,730 冊 (令和 3 年度 22 施設・667 冊)
- ・子ども読書支援パック(65 種類 179 パック)の貸出数
 保育所・幼稚園・児童館 210 件(令和 3 年度 204 件)、ボランティア団体・個人 158 件(令和 3 年度 124 件)
- ・家庭文庫・地域文庫への資料貸出 文庫登録数・貸出冊数 18 団体・1,573 冊 (令和 3 年度 19 団体・1,727 冊)
- ・保育施設の子どもの見学を受け入れ、おはなし会等を実施 (福岡・泉)

施策(2) 障害のある子どものニーズに応じたサービスを提供します

【障害のある子どもが利用しやすい資料の拡充、読書環境の整備】

障害のある子どもをサポートするため、各館に拡大読書器等を設置するとともに、触る絵本や点字付き絵本などの収集・貸出を継続して行った。また、電子図書館では音声読み上げ機能の付いた電子書籍を提供するなど、障害のある子どもが利用しやすい読書環境の整備に努めた。

○主な取組

- ・子供図書館のユニバーサルコーナーをはじめ、各館で触る絵本や点字付き絵本、LL ブック等、障害のある子どもたちの読書活動の推進に向けた資料の収集を行った。また、触る絵本等の所蔵リストを各館で配布するとともに、ホームページ等での公開を継続して行った。
- ・マルチメディアデジ資料の貸出を継続して行った。
- ・せんだい電子図書館に音声読み上げ機能の付いた「うごくえほん」を用意し、トップページに専用バナーを設け、利用しやすいよう配慮した。

【関係機関との連携によるニーズに応じた取組の推進】

特別支援学級からの要望が多かった資料を中心に貸出資料の充実を図った。また、特別支援学校・学級専用資料について作成したチラシを、市内特別支援学校と市立小・中学校の特別支援学級へ配布するとともに、ブックトーク等で小・中学校を訪問する際に配布するなど、広報に努めた。さらに、手話を使ったおはなし会など、障害のある子どもが参加しやすいイベントを実施した。

○主な実績

- ・特別支援学校・学級専用資料の貸出
 利用校数・貸出点数 21 校延べ 57 回・2,174 点 (令和 3 年度 19 校延べ 57 回・2,049 点)

○各館の主な事業

事業名	内容	実施館
手ではなすおはなしの会(再掲)	せんだいメディアテークとの共催で、ボランティアグループによる手話を使ったおはなし会を開催	市民
手話でおはなし会	手話についての説明や絵本の読み聞かせ、紙芝居、手遊び等を音声と手話で同時に実施	宮城野

施策(3) ヤングアダルト世代の読書活動、学習活動を支援します

【中高生の主体的な読書活動のサポート】

図書館サポーターなど中高生が主体的に活動できる機会づくりに努め、中高生によるおすすめ本のリスト作成や選書支援等を継続して実施した。また、市立高校の学校図書館を訪問して意見交換を行うなど、学校図書館の現状やヤングアダルト(YA)世代のニーズの把握に努めるとともに、学校との連携強化を図った。

方向性 2

○各館の主な事業

事業名	内容	実施館
みんなのおススメの本を教 えて	図書館に投稿された、中高生のみなさんのおススメの本の紹介文をホームページ や展示で活用(投稿数 55 件)	全館
学校図書館訪問(高等学 校)	仙台大志高等学校・仙台工業高等学校(全日制・定時制)・仙台商業高等学校・仙 台高等学校・仙台青陵中等教育学校にて高校担当者との意見交換	市民
選書アドバイザー会議	中高生が YA 向け図書の選書支援や 10 代向けブックリストの作成に関わり、同世代 の目線による蔵書構築や情報発信に取り組んだ(全 5 回)	広瀬
YA コーナー選書支援アン ケート	中高生やその親の読書ニーズを把握するとともに、その結果を選書アドバイザー会 議における選書支援の参考とした	広瀬
選書サポーター会議	中高生による図書の選書サポート、YA コーナー作り(全 4 回)	榴岡
分かりやすい文章の書き方 講座 新規	河北新報の記者を招聘し、新聞の読み方から、分かりやすい(伝わりやすい)文章の 書き方についてお話いただき、ワークショップを実施	榴岡
ビブリオバトル	おすすめ本を発表し、観覧者による投票でチャンピオンを決める知的書評合戦	若林
YA 図書委員会	図書館業務の体験や、同年代に紹介したい「BOOK LIST2022」の作成・本の展 示、ビブリオバトル参加、イベントスタッフ体験等を実施(全4回)	泉
やってみよう!ビブリオバ トル 2022	のびすく泉中央と共催で、中高校生を対象にビブリオバトルを実施	泉
高校・中学校との連携展示	高校図書委員会、中学生がおすすめの本の POP 作成を行い、これをもとに YA コ ーナーに展示ブースを設置	泉

【SNS 等を活用した広報の推進】

図書館ホームページの「ヤングアダルト中高生のページ」や Twitter に、ヤングアダルト向けイベント情報や司書
及び中高生によるおすすめの本の紹介を掲載するなど、情報発信を継続的に行った。また、「10 代のためのこころ
のサプリ」「いじめ・命に向き合う本のリスト」をホームページに掲載するとともに、市立中学校・高校にデータ配信し
た。

○新 1 年生への利用案内配布実績

- ・中学校1年生向け図書館利用案内「図書館にいこうよ!」 配布校数・枚数 83 校・9,873 枚 (令和 3 年度 82 校・10,463 枚)
- ・高等学校1年生向け図書館利用案内「いざ!図書館」 配布校数・枚数 47 校・11,864 枚 (令和 3 年度 50 校・11,775 枚)

【YA コーナー、YA 向けコンテンツの充実】

各館にヤングアダルト(YA)コーナーを設け、中高生向けの本の紹介や展示を行った。また、電子図書館の YA 向
け電子書籍の充実を図るとともに、トップページに「ヤングアダルト YA 文庫」バナーを設け、利用促進に努めた。

○各館の主な事業

事業名	内容	実施館
おみくじ BOOK、本の福 袋(再掲)	年代別に図書館員が選んだ資料を福袋形式にして貸出	市民・広瀬・宮城野・ 榴岡・若林・泉
展示コーナーの設置	「10 代のためのこころのサプリ」掲載本の展示コーナーや中高生の 勉強や進路選択に役立つ本を集めた「学習応援ノ棚」を設置し、「学 習応援本」のリストを配布	宮城野
Kuruto ながまちビブリオ バトル	放課後施設 kuruto ながまち主催のビブリオバトルに職員が参加し、実施 後、YA コーナーにてイベントの様子やチャンプ本を紹介・展示	太白

施策(4) 学校との連携を推進し、子どもの読書環境、学習環境の向上を支援します

【オンラインを活用した学校連携】

個人の利用者カードを持っていない児童・生徒でも、タブレット端末を使用して、朝読書などの活動で電子図書館を利用できるよう、各学校専用の特別利用IDを付与するとともに、教職員を対象に利用研修会を開催した。また、電子図書館を授業の中でモニター投影等の活用ができるように、著作権に係る許諾を得る体制を整備した。

○主な実績

- ・特別利用 ID の送付先 市立小学校・中学校・中等教育学校・高等学校・特別支援学校 **新規**
- ・電子図書館利用研修会 実施校数 小学校 11 校・中学校 1 校、参加者数 214 人 **新規**

【学校と連携した継続的な読書活動や調べ学習のサポート】

公共図書館利用学習への支援や小中学生の職場見学・体験学習等の受け入れを継続して実施した。また、学校貸出サービスを引き続き行い、子どもの学年に応じた利用しやすい形で資料の提供を行うとともに、多種多様な本に触れられる機会の充実に努めた。

○主な実績

- ・小学校1年生向け図書館利用案内「としょかんへいこう！」と来館した児童へ「ようこそシール」の配布
「としょかんへいこう！」 配布校数・配布枚数 132 校・9,815 枚（令和3年度 132 校・10,055 枚）
「ようこそシール」 配布枚数 496 枚（令和3年度 561 枚）
- ・小学校1年生向け「りようしゃカードひきかえけん」の配布
配布校数・配布枚数 132 校・9,815 枚（令和3年度 132 校・10,055 枚）
利用者カード発行数 579 枚（令和3年度 796 枚）
- ・学校貸出サービス 延べ貸出回数 613 回（令和3年度 575 回）
<内訳>
 - パッケージ貸出:延べ貸出回数 131 回（令和3年度 110 回）
 - 授業用図書貸出、ブックトーク貸出、特別支援学校・学級専用貸出:
延べ貸出回数・貸出冊数 470 回・20,224 冊（令和3年度 457 回・19,524 冊）
 - 高等学校向け学校貸出:延べ貸出回数・貸出冊数 12 回・268 冊（令和3年度 8 回・151 冊）
- ・図書館見学、調べ学習 受入校 延べ62校・86回・4,294人（令和3年度 延べ49校）
- ・小中学生の職場見学・体験学習等 受入校（不登校児童の適応指導教室含む）29校（令和3年度 12校）
- ・図書館職員による小中学校へのブックトーク 利用校 126校・133回（令和3年度 延べ131回）
- ・ボランティアによる小中学校へのブックトーク 利用校 20校(団体)・44回（令和3年度 21校）
- ・除籍本有効活用無償譲渡会(小学校) 提供数 20校・1,533冊（令和3年度 15校・1,982冊）

○各館の主な事業

事業名	内容	実施館
出前授業	小学校や中学校に出向き、読み聞かせ等出前授業を実施	市民・泉
紙芝居講座	中学校の紙芝居研究会における紙芝居の演じ方の講習会	若林
出前図書館見学	小学校における移動図書館見学	移動

施策(5) 家庭・地域等と連携し、子どもの創造性を育む読書活動を支える環境づくりを進めます

【地域の子育て関連施設等と連携し、家族がともに学び、ふれあう機会づくり】

子育てふれあいプラザ「のびすく」と連携したおはなし会の実施や、児童館等主催の子ども読書事業へ図書館職員を派遣するなど、地域の子育て関連施設等と連携し、様々な機会を通じた家庭での読書習慣のきっかけづくりを行った。

方向性 2

○主な実績

- ・子育てふれあいプラザ「のびすく」と連携したおはなし会 実施回数・参加者数 23回・500人（令和3年度 17回・260人）
- ・児童館等主催子ども読書活動事業への図書館職員派遣 派遣件数 17件（令和3年度 8件）

○各館の主な事業

事業名	内容	実施館
おしゃべり人形がくるよ！歯をたいせつにしよう・ゆかいなおはなし	スマイリー・チバ氏による腹話術での歯の健康などのお話と職員による紙芝居を実施	市民
出張おはなし会、出前おはなし会	のびすくや児童館、市民センター等での絵本の読み聞かせ、紙芝居、わらべうた等の実施	市民・榴岡・若林・泉
ミニプラネタリウムでおはなし会	仙台市天文台主催の「天文台まつり」にて移動式プラネタリウムで星空を演出した会場でのおはなし会を開催	広瀬
宮城地区まつり「おはなしのへや」	宮城地区まつりに参加し、おはなし会を実施	広瀬
ハロウィンパレードへの協力	原町児童館（のびすく宮城野）行事のハロウィンパレードの立ち寄り場所として協力	宮城野
ヤギさんおはなしかい	月1回行われる新寺こみち市会場で出前おはなし会	若林
児童館作成防災マップへの寄稿 新規	八本松児童館作成の発行物へおすすめ絵本紹介記事を寄稿	太白

【子どもが本に親しみ、継続的な読書活動につなげるための取組】

図書館全館において、春・秋の子ども読書フェスティバルを開催し、特別おはなし会やおすすめの本の展示等により子どもが本に親しむための機会とするとともに、家庭・地域への情報提供等を行った。また、自書式読書通帳を継続して配布したほか、在仙プロスポーツチームと連携してスポーツ読書通帳を作成し、学校を通じて市内の全小学生に配布するなど、子どもが継続して読書に親しめるような取組を行った。

○主な実績

- ・春・秋の子ども読書フェスティバル
 - 「読書の木花いっぱいになぁ〜れ」参加人数 9,071人（令和3年度 10,391人）
 - 「ラッキーブックをさがそう！」参加人数 11,216人（令和3年度 12,813人）
- ・児童文学者講演会「絵本作家 とよたかずひこさん講演会」参加人数 105人
（令和3年度児童文学者講演会「10代のためのはやみねかおる先生トークイベント」参加人数 210人）
- ・読書通帳配布と1冊終了ごとに認定シールの貼付
読書通帳配布数 4,478枚（令和3年度 17,495枚）、認定シール配布数 1,046枚（令和3年度 996枚）
- ・スポーツ読書通帳の配布 **新規**
在仙プロスポーツ4球団のホームゲーム観戦招待引換券配布数 238枚
- ・読み聞かせやストーリーテリングなど、子ども読書に関する研修・講座
実施件数・参加者数 7件・232人（令和3年度 10件・157人）

○各館の主な事業

事業名	内容	実施館
特別おはなし会、スペシャルおはなし会、かくだいおはなし会等	各館で、季節ごとやテーマを設けて特別なおはなし会を開催 例：夜のこわ〜いおはなし会、えいご de おはなし会、落語おはなし会、防災おはなし会、紙芝居おはなし会、パネルシアター等	全館
本の福袋(再掲)	年代別に図書館員が選んだ資料を福袋形式にして貸出	市民・広瀬・宮城野・榴岡・若林・泉
わくわく映画館	テーマ「つながる心」映画上映2本、読み聞かせ2冊を実施	市民
おはなし会リレー（広瀬図書館まつり）	「えがおっていいね！」をテーマとして、協力団体と広瀬図書館がおはなし会をリレー形式で実施	広瀬

ひろせ読書スタンプラリー	本の貸出時に1日1個のスタンプをもらえるスタンプカードを配布し、スタンプを6個集めた参加者に記念品を進呈	広瀬
月の観望会×ブックトーク「のぞいてみよう！夜空の月と本の月」 新規	月の観望会と「月」をテーマにしたブックトークを一度に楽しめるイベント(連携:仙台市天文台)	広瀬
子ども天文教室	「惑星たちを探してみよう！」をテーマにした子ども向け天文教室(連携:仙台市天文台)	広瀬
ぬいぐるみおとまり会	ぬいぐるみが図書館におとまりし、図書館を探検したり、おすすめ本を選んでくれる様子をTwitterで発信または写真をプレゼント	宮城野・若林

【子どもの心を育み、居場所となる取組】

夏休みなどの長期休暇を利用した体験型イベントの開催や、子供図書室を核とした事業など、子どもの読書活動を支える取組を行った。

○各館の主な事業

事業名	内容	実施館
小学生図書館探検、体験！図書館員になろう！	小学4年生～6年生を対象にしたブックポストや書庫など図書館の裏側見学とお仕事体験、親子で楽しむバックヤード・ツアーなど	市民・広瀬・太白
DVD上映会、お楽しみ映画会、子ども映画上映会等	子ども向け上映会を各館で開催	広瀬・宮城野・若林・泉
謎解きゲーム「あんごうをといてぼくをさがしてね！」	暗号を解いて答えの本にたどり着くと、本の中に入っている「謎解き証」をもらえる企画。問題を解く中で、福祉に関する図書や、拡大読書器等館内のバリアフリー機器などを知ることができる	宮城野
おうちでこうさくきょうしつ	子どもたちに自宅で作れる電車の工作キットを配布。家で作って図書館に持ってきてくれた作品を児童書コーナーに展示	宮城野
夏休み宿題お助け隊	小学生を対象に、夏休みの自由研究や読書感想文といった調べ学習の支援、図書館資料による学習方法の提案を実施	若林
小学生夏休み工作教室	牛乳パックでラケットボールを制作	太白
小学生のためのエコサイエンスショー	サイエンスインストラクターを講師に招き、小学生向けに環境に関する科学実験ショーを実施	泉
子どものための楽しい落語会～日本の伝統芸能にふれてみよう～	東北大学落語研究会による、子ども向けの落語や小道具の紹介などを実施	泉

方向性 3

方向性 3 市民一人ひとりに利用しやすい図書館となるために

施策(1) どこに住んでいても図書館サービスが利用できる環境の整備に取り組みます

【事業者や市民団体等との連携による図書館サービス】

市民センターの図書ボランティア養成を対象とした講座等に講師を派遣し、地域での読書活動の活性化に努めた。また、予約資料の受け取りや返却ができる窓口として中田市民センター内のサービススポットの運営を継続しつつ、図書館サービスのさらなる拡充を図るため、地下鉄東西線荒井駅舎内のせんだい 3.11 メモリアル交流館内に新たなサービススポットを開設するための調整・準備を進めた(令和 5 年 6 月開設)。

○主な実績

- ・中田サービススポット 開設日数・延利用者数 120 日・3,193 人 (令和 3 年度 109 日・3,003 人)
- ・除籍本有効活用図書(一般書:市民センター等) 提供数 2 カ所・231 冊 (令和 3 年度 3 カ所・711 冊)

○各館の主な事業

事業名	内容	実施館
本の修理講座講師派遣(再掲)	市民センターの図書室で活動するボランティアなどを対象とした本の修理講座へ講師を派遣	市民
「空飛ぶ絵本」プロジェクトへの協力・寄贈資料受入	仙台 89ers の選手が実施するプロジェクトの選書に協力し、また、ホームゲーム時に設置した空飛ぶ絵本ポストに投函された絵本を寄贈受入し、寄贈絵本の展示とチームの黄援コーナーを設置	太白
ブックトークの出前講座(再掲)	幸町市民センターの依頼を受け、図書に関するボランティアをしている方向けにブックトークの基礎講座を実施	泉

【移動図書館の安定的なサービス】

令和 3 年度に更新した移動図書館車「ひろせ号」に続き、老朽化している「わかくさ号」の更新に向け、準備を進めた(令和 5 年度中に更新予定)。また、安定的に開設できるよう駐車場所の見直しを行ったほか、地域のイベントに特設巡回するなど、多くの市民に知ってもらうとともに手軽さや選びやすさ等を体験してもらう機会を設けた。

○主な実績

- ・移動図書館(76カ所) 巡回日数・延利用者数 225 日・28,111 人 (令和 3 年度 216 日・23,990 人)
- ・移動図書館の特設巡回(向山地域、六郷市民まつり、PTA フェスティバル)や児童文学者講演会での車両展示

【電子図書館などオンラインサービスの推進】(重)

令和 3 年 11 月に開始したせんだい電子図書館について、震災関連資料や仙台ゆかりの作家の本など、地域の特色を活かしたコンテンツを用意するとともに、トップページに「3.11 震災文庫」「仙台郷土資料」のバナーを設け、すぐに関連資料を探せるよう工夫した。また、学校での朝読書の活動などで電子図書館を利用できるよう、各学校専用の特別利用IDを付与するとともに、教職員を対象に利用研修会を開催するなど、電子図書館サービスを推進した。

○せんだい電子図書館の主な実績

- ・ログイン数 137,089 回、コンテンツ数 4,358 点、貸出数 37,809 点、予約数 11,289 件
- ・特別利用 ID によるログイン数 16,884 回、貸出数 8,360 点、閲覧数 27,878 点 (再掲) **新規**
- ・教職員向け利用研修会の実施 小学校 11 校、中学校 1 校 (再掲) **新規**

施策(2) あらゆる人に使いやすい図書館サービスを推進します

【超高齢社会に即した図書館サービスの推進】

高齢者など通常の本の文字が読みづらい方向けに大活字本の収集を行うとともに、小説を中心に全館で資料の充実を図った。また、高齢者の関心が高い分野をテーマとした資料展示やブックリストを配布するなど、情報の提供を行うとともに、来館のきっかけとなるような講座を開催した。

○主な実績

- ・大活字本受入数 346 冊 (令和 3 年度 355 冊)
- ・大活字本蔵書数 9,537 冊 (令和 3 年度末 9,236 冊)

○各館の主な事業

事業内容	実施館
シニア世代向けの図書を集めたコーナーを常設	市民・泉
榴岡地域包括支援センターと連携し、「認知症について」「健康寿命をのばすコツ」等の講座を実施 新規	榴岡
ハローワークと連携し、「シニア世代の働き方講座」を実施 新規	榴岡
自館で新たに受入した所蔵の大活字本リストを作成・配布 (再掲)	泉
高齢者向け新着図書案内「シニアライフの充実は“図書館”から」の継続発行 (再掲)	泉

【図書館を利用しにくい方々へのサービスの強化】

全館に拡大読書器、筆談ボード等を設置するなど、障害のある方へ配慮するとともに、視覚に障害のある方へのデージー資料(録音図書)の貸出や、電子図書館では音声読み上げ機能付きの電子書籍を多く用意するなど、読みづらさの解消へ配慮した。また、心身の障害等により来館が困難な利用者に対し、図書館資料の郵送貸出を継続して実施したほか、視覚障害のある方へ朗読ボランティアによる対面朗読サービスを実施した。

○主な実績

- ・郵送貸出サービス 利用者数・貸出数 4,060 人・9,816 冊・点 (令和 3 年度 3,911 人・9,948 冊・点)
- ・朗読ボランティアによる対面朗読サービス 利用件数 145 回 (令和 3 年度 64 回) (せんだいメディアテーク分を除く)
- ・ボランティア団体「拡大写本の会」による拡大写本制作への支援(宮城野) 拡大写本 1タイトル7分冊完成
- ・デージー資料(録音図書)の作成(宮城野) 208 点 累計 2,541 点 (令和 3 年度 615 点 累計 2,333 点)

○各館の主な事業

事業名	内容	実施館
手話通訳・要約筆記付講演会	開館 60 周年記念講演会を手話通訳・要約筆記付で実施	市民
障害者サービス講座	北部発達相談支援センター職員による講話「発達障害を理解する」、関連図書の展示等を実施	宮城野

【国際化社会に対応したサービスの充実】

各館で調整のうえ、外国語資料(一般洋書)や外国語絵本、児童洋書などの充実を図った。また、外国人向けの図書館利用案内について、せんだい電子図書館の案内を追加のうえ全面改訂するとともに、ホームページでの情報提供を行った。

○主な実績

- ・外国語資料(一般洋書)受入数 13 冊 (令和 3 年度 74 冊)
- ・外国語資料(一般洋書)蔵書数 4,804 冊 (令和 3 年度末 4,805 冊)
- ・外国語絵本・児童洋書受入数 143 冊 (令和 3 年度 184 冊)

方向性 3

○各館の主な事業

事業内容	図書館
外国人向け利用案内(英語・中国語・韓国語)を全面改訂し配布	全館
多読カフェ研究会による日本語、英語、韓国語でのおはなし会を開催	若林

施策(3)ICT 環境の進展など社会環境の変化を踏まえたサービスを提供します

【電子媒体を活用した発信の強化／利用者のITリテラシーに合わせたサポートの強化】(重)

オンラインおはなし会の開催や、Twitter を活用したイベント等の情報発信をこまめに行うなど、電子媒体を活用した発信の強化に努めた。また、初心者向けに電子図書館の使い方講座を開催したほか、YouTube で利用方法を配信するなど、電子図書館の利用促進に向けた取組を行った。

○各館の主な事業

事業内容	図書館
仙台市公式動画(YouTube)チャンネル「せんだい Tube」にて、「せんだい電子図書館のご利用案内」を3回に分けて配信(PART1 ログイン・貸出・返却編、PART2 資料検索編、PART3 予約編) 新規	市民
おうちで楽しむオンラインおはなし会を年3回実施(再掲)	若林
初心者向けに、電子図書館の紹介・体験会を開催	若林・泉

方向性 4 自らの変革を進める図書館となるために

施策(1)市民の財産としての資料を計画的に収集・保存し、活用します

【計画的な資料の収集・保存・活用】

仙台市図書館資料収集方針に基づき、集中選書会議の中で、専門書や高額資料の購入について検討し、各館の分担収集分野に応じた配置を行った。また、除籍本を無償で小学校や保育施設、市民センター等に提供するなど、資料の有効活用を図った。

○各館の分担収集分野

市民	郷土資料、東日本大震災関連資料、哲学・歴史・社会科学・ビジネス支援・建築・美術・言語関係資料
宮城野	文学関係資料
若林	農業・園芸関係資料
太白	健康・医療関係資料
泉	児童書研究資料、自然科学・技術工学・ビジネス支援・福祉関係資料

○除籍本有効活用図書提供（再掲）

- ・児童書：小学校・保育所等 37カ所・3,263冊（令和3年度 37カ所・2,649冊）
- ・一般書：市民センター等 2カ所・231冊（令和3年度 3カ所・711冊）

【電子図書館の特色あるコンテンツづくり】 **重**

仙台にゆかりのある作家の作品や東日本大震災関連本など、地域に根ざした資料の選定を行い、せんだい電子図書館のトップページに「3.11 震災文庫」「仙台郷土資料」等のバナーを設け、すぐに関連資料を探せるよう工夫するなど、仙台らしさを意識した特色あるコンテンツづくりに努めた。

○主な実績

- ・電子図書館コンテンツ数 郷土資料・震災資料 143点・112点（令和3年度末 112点・106点）（再掲）

施策(2)めざす図書館像を市民と共有し、ともに図書館づくりを進めます

【市民協働事業や広報の促進】

利用者自らがおすすめ本を紹介したり、イベントに参画したりするなど、市民参加型事業を行った。また、Twitterを利用して、イベントの案内だけでなく開催後の報告を行うなど、広報の推進を図った。

○各館の主な事業

事業名	内容	実施館
ひろせしゃべぐる BOOKS（読書会）	独自のテーマやテーマ本を設定する読書会を開催し、「広瀬図書館まつり」では、読書会参加者が選書した資料の展示企画「読書会の本棚」も実施	広瀬
押し本！（再掲）	利用者におすすめ本のアンケートを行い、展示およびブックリストの作成・配布を実施	榴岡
ほんのトーク（再掲） 新規	月に一回、閉館後の図書館に集まり、テーマに沿って本について気軽にしゃべりするトークイベントを開催し、開催後のレポートをTwitterで発信	太白
おすすめの一冊大募集！（再掲）	子どもたちを含め、利用者のおすすめ本を募り、「みんなのおすすめ 2022」として資料展示とリスト配布を実施	泉

【地域人材の育成と活躍の場の提供、市民参加の促進】

ボランティアや市民の協力を得て、各館で多様な取組を行った。また、各種ボランティアの養成講座を開催するなど、市民の学びをサポートする人材の育成を行った。

方向性 4

○ボランティアや市民による主な活動（再掲あり）

内容	実施館
各種おはなし会への協力	全館
ブックトークへの協力	市民
本の修理や返却された本を書架に戻す作業	市民・広瀬(修理のみ)・宮城野・若林・太白・泉
ボランティア懇談会や定例会の開催	市民・広瀬・若林・太白・泉
対面朗読	宮城野・若林・太白・泉
まちあるきイベントへの協力	榴岡
大人向けのおはなし会への協力	泉

○各種ボランティア養成講座等の実施

事業名	内容
ブックトークボランティア基礎講座 (全6回)	ブックトークに興味のある方を対象としたボランティア養成講座(講話・実演・演習等)
読み聞かせボランティア基礎講座 (全3回×2会場)	読み聞かせ講座を受けたことのない方を対象としたボランティア養成講座(講義)
乳児向け読み聞かせボランティア 養成講座(全3回)(再掲) 新規	読み聞かせの活動をしていて乳児向けの絵本などの読み聞かせに興味のある方を対象としたボランティア養成講座(講話・講義・実技)
ストーリーテリング講座(全3回)	ストーリーテリングに興味のある方を対象としたボランティア養成講座(講義・実習・実演)
読み聞かせボランティアステップ アップ講座(全4回)	小学校や児童館等で読み聞かせの活動をしている方を対象としたボランティアステップアップ講座(講義・実習等)
わらべうた講座(全1回×2会場)	おはなし会にも役立つ伝承遊び「わらべうた」の魅力や遊び方を実践を通して学ぶ講座
対面ボランティアスキルアップ講座 (全2回)	音訳ボランティアを対象としたスキルアップ講座(テーマ:より深く知る音訳の技術)

施策(3)図書館資源を適正に配分・管理し、最大限に活用します

【安定的なサービス提供のための課題解決】

公共図書館として安定的なサービスを提供するため、図書館情報システム機器の更新を行った。また、市民図書館の中央館としてのあり方について、図書館協議会で検討を進めた。

○主な実績

- ・図書館情報システム機器更新(令和5年1月)
- ・図書館協議会開催(令和4年5月・7月・11月、令和5年2月)

【来館型・非来館型サービスの適正な運用】

図書館に来館しなくても、インターネットを通じて、いつでもどこでも電子書籍を借りて読むことができる「せんだい電子図書館」を運営し、令和5年2月からは電子雑誌閲覧サービスを開始するなど、非来館型サービスの充実を図った。また、感染症対策のため利用を制限していた視聴覚資料の館内視聴を再開するとともに、席数を減らしていた閲覧席を元に戻すなど、徐々に従来の来館型サービスを利用できるようになった。

○主な実績

- ・TRC-DL マガジン 電子雑誌閲覧サービス運用開始(令和5年2月)(再掲) **拡充**
- ・視聴覚資料の館内視聴順次再開(令和4年10月)
- ・閲覧席の利用制限解除(令和5年2月)

【費用対効果を踏まえたサービスのあり方の検討、財源創出の手法の研究】

広告料収入を資料費に充てるため、雑誌スポンサー事業を継続して実施した。また、図書館資源を適正に配分するため、図書館協議会にて検討を行うとともに、若林図書館について、令和5年度からの第3期指定管理者の公募・選定を行い、令和5年6月開設の荒井サービススポットの運営を含めた協定書を締結した。

○主な実績

- ・雑誌スポンサー制度(広瀬・宮城野・榴岡・若林・太白・泉) 参加企業 4社 (令和3年度 3社)
- ・若林図書館の第3期指定管理者(令和5年度～令和9年度)の公募・選定、協定書の締結 **(重)**

施策(4) 図書館サービスの評価・分析を行いながら図書館経営を行います

【数値的成果指標の図書館サービス向上への活用】

仙台市図書館振興計画に基づき実施した事業について、点検・自己評価を行い、第三者による評価として仙台市図書館協議会から意見を受けて報告書としてまとめ、市民に公表した。また、指定管理者制度導入館に対して指導・監査を実施するとともに、管理運営に係るモニタリング・評価を継続して実施し、ホームページ上で公表した。

【市民による評価や意見の活用】

市民の意見や要望を把握し、より良いサービスが提供できる図書館運営を行うため、利用者へのアンケートや利用者懇談会を実施し、その結果をホームページで市民に公表した。また、利用者の意見を聞く機会として、全館に意見箱を常設し、意見と回答の掲示を行うとともに、可能な改善を行った。

○主な取組

- ・窓口サービスアンケート(市民・宮城野・太白・泉)、利用者アンケート(広瀬・榴岡・若林)の実施
- ・ご意見箱の設置(全館)
- ・利用者懇談会の実施(全館)

施策(5) 図書館職員に求められる資質と専門性の向上に努めます

【社会環境や課題の変化を踏まえた職員の資質と専門性の向上／職員間の知識や技術・経験の伝承／マネジメント能力を高め、市民の活動の場を支える職員の育成】

国立国会図書館等の専門機関、関連機関等が実施する研修に参加したほか、全館職員を対象とした市民図書館主催の集合研修や、各館及び指定管理者主催の職員研修を実施するなど、職員の資質と専門性の向上を図り、市民の活動の場を支える職員の育成を行った。

○主な研修の参加事例

- ・国立国会図書館の研修会 (宮城野・太白・泉)
- ・国立国会図書館国際子ども図書館児童文学連続講座 (泉)
- ・全国公共図書館研究集会 (市民・泉)
- ・公共図書館等職員研修会 (市民・広瀬・榴岡・若林・太白・泉)
- ・文部科学省の新任図書館長研修 (太白・泉)
- ・都道府県著作権事務担当者講習会 (市民・広瀬・宮城野・若林・泉)
- ・図書館地区別(北日本)研修 (太白・泉)
- ・北日本図書館大会 (市民・広瀬・泉)
- ・北日本図書館連盟研究協議会 (市民・宮城野・太白・泉) ※市民図書館からは講師として職員を派遣
- ・未来の図書館研究所シンポジウム (若林)
- ・全国図書館大会群馬大会 (広瀬・泉)
- ・公益財団法人日本ケアフィット共育機構主催のサービス介助士講座 (広瀬)

方向性 4

- ・生涯学習支援センター主催の社会教育施設職員向け研修（広瀬・宮城野・榴岡・泉）
- ・市民図書館主催の全館向け研修(新任職員、ブックトーク、おはなし会、データベース、レファレンス、図書館政策等)(全館)
- ・館内研修(接遇、システム障害時対応、図書館危機管理、著作権、レファレンス、個人情報保護、デジター資料取扱い等)
(広瀬・榴岡・若林・太白・泉)

◇◆◇方向性ごとの今後の課題◇◆◇

方向性1 地域や市民に役立つ図書館になるために

【課題解決に取り組む市民の学びのサポート】

・幅広い資料の収集と、全国の図書館との連携により、多様なニーズに応える資料提供に努め、地域や市民の様々な課題解決を支援する。

【地域の歴史や魅力の継承・発信と未来の地域づくりへの貢献】

・市民が地域についての理解を深め、郷土愛を育む一助となるよう、市民や関係機関等の協力を得ながら郷土資料の収集に努める。
・地域の専門機関と連携した講座やイベント等を開催し、地域の歴史や魅力を広く発信する。

方向性2 0歳から読書に親しめる読書文化を育む図書館となるために

【乳幼児から読書に親しみ、豊かな感性を育む機会の提供】

・赤ちゃんと保護者が絵本を通じて触れ合い、コミュニケーションを図る事業を展開し、家庭での読書活動の充実や、子育てを支援する方との交流につなげる。

【学校・家庭・地域と連携した子ども読書活動の推進】

・電子図書館サービスにおいて、行政資料の電子書籍化や調べ学習に使える資料などを充実させ、教育活動でのより一層の活用を促していく。
・読み聞かせボランティア等の養成講座を引き続き開催し、子どもの読書に関わる活動に意欲的に取り組むボランティアを養成する。

方向性3 市民一人ひとりに利用しやすい図書館となるために

【どこに住んでいても図書館サービスが利用できる環境の整備】

・新たなサービススポットを開設して身近な図書館サービスを提供するとともに、移動図書館「わかくさ号」の更新を機に、図書館を利用しにくい方々へのアウトリーチ型の事業の充実を図る。

【あらゆる人に使いやすい図書館サービスの推進】

・電子図書館サービスのさらなる充実・活用を図り、誰もが使いやすい図書館サービスの取組を進める。

方向性4 自らの変革を進める図書館となるために

【図書館資源の適正配分・管理と活用】

・公共図書館としての質を確保しながら、効率的・効果的な施設の管理運営を実施するため、図書館資源を適正に配分し、最大限に活用できるよう検討を進める。
・来館型・非来館型それぞれの長所を適切に取り入れた図書館サービスを提供していく。